

## 「かながわ自殺対策計画（平成 30～34 年度）」の進行管理について（用語等の整理）

### 1 進行管理の考え方

- 計画の進行管理は、可能な限り、客観的な数値目標の進捗状況（進捗率または進捗度）をもって判断する。
- 毎年度の進行管理は、客観的な数値目標の進捗状況の推移を「判定※」することにより確認・把握する。
- なお、「評価」は計画最終年度（＝令和 4 年度）に、「かながわ自殺対策計画（平成 30～34 年度）」の達成状況を示す総合的な指標として、前年度（＝令和 3 年度）までの事業の達成状況に対して行い、次期計画の改定作業（令和 4 年度予定）に反映させる。

※ 判定：客観的な数値目標の設定が可能な事業の実績数値の推移に着目し、各目標にかかる達成目安に対する現状値の進捗状況により、A～E（A＝100%、B＝70%以上 100%未満、C＝50%以上 70%未満、D＝20%以上 50%未満、E＝20%未満）の 5 段階により機械的に算出したもので、事業の進捗状況の目安とするもの。

### 2 数値目標の種類等

#### （1）計画目標

「かながわ自殺対策計画（平成 30～34 年度）」p.188～189 の「3 計画の目標値」に記載の数値目標を指します。

#### （2）独自目標

「計画目標」を設定していない施策において、進捗状況の把握のため、客観的な数値による目標設定が可能な事業に対して、新たに設定した数値目標を指します。

#### （3）自己評価

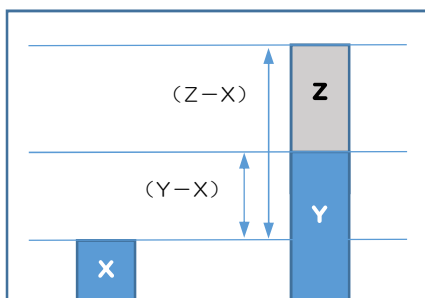
事業の性質上、数値目標になじまない、または、設定しようがないといった事業について、事業の達成度に関する「自己評価」を行うことにより、毎年度の状況を把握することを指します。

### 3 進捗率または進捗度について（H29 時点実績：X、H30 時点実績：Y、H30 時点達成目安：Z）

#### ◇ 数値目標を最終年度に達成すべき数値として設定した場合

⇒ 「進捗率」とする。  
（各年度の達成目安に対する実績の伸び率）

（例）ストレスチェックホームページ・アプリの運営：アクセス数累計 300,000 件  
計算式： $(Y - X) / (Z - X)$



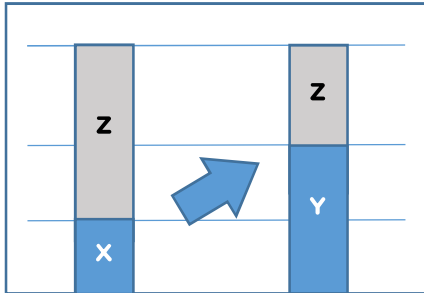
- 目標としてXからZまで実績を増加させたいとき、Yがどこまで増加したのかを表す。
- 累積人数や箇所数の増加等、増減の傾向がある程度一定と見込まれる指標に適用。
- 施策の進展状況を把握するための値。

◇ 数値目標を毎年度達成すべき数値として設定した場合

⇒「進捗度」とする。  
(達成目安に対するその時点の実績の割合)

(例) ころの電話相談：相談件数 毎年度 9,300 件

計算式： $Y/Z$



- 目標の Z に対し、Y がどの程度の状況（割合）であるかを表す。
- 参加人数や相談件数等、毎年一定水準の実績が必要な指標に適用。
- 施策の着実な実施状況を把握するための値。